

一般社団法人日本ファームステイ協会主催 研修コンテンツ 一覧

農泊・ファームステイ実施地域と支援事業者の皆さまが国際市場に求められているサービス水準を満たし、旅行者にとって魅力的な地域づくりのために、本会は求められているサービス品質の情報を提供し、農泊主体の発意によるレベルアップ支援プログラムを提供しています。各種研修会開催のご検討お願い致します。

一般社団法人日本ファームステイ協会主催 研修コンテンツのお申込みにあたって

1. 研修費用

- (1) ご依頼後にお見積りを作成させていただきます。
 - (2) 会場費・講師交通費・宿泊費（実費）等は、別途ご負担願います。
 - (3) ご案内のプログラム以外のオーダーメイド研修については、別途、講師等のご相談を受け承ります。
- ※ご紹介した講師へのお支払いは直接、研修講師へお願いいたします。

2. 研修時間 各研修により異なります。

3. 研修会場 主催者指定会場になります

4. 研修方法 主催者指定方法になります

レイアウト：スクール形式・ワークショップ形式・オンライン形式 等

5. 受講者数 各研修により異なります。

6. 申込手順 (1) 研修（講師）の依頼→(2) 日程の調整（第3希望まで連絡）→(3) ご回答→(4)

研修実施

◆ 研修コンテンツの詳しいお問い合わせは、

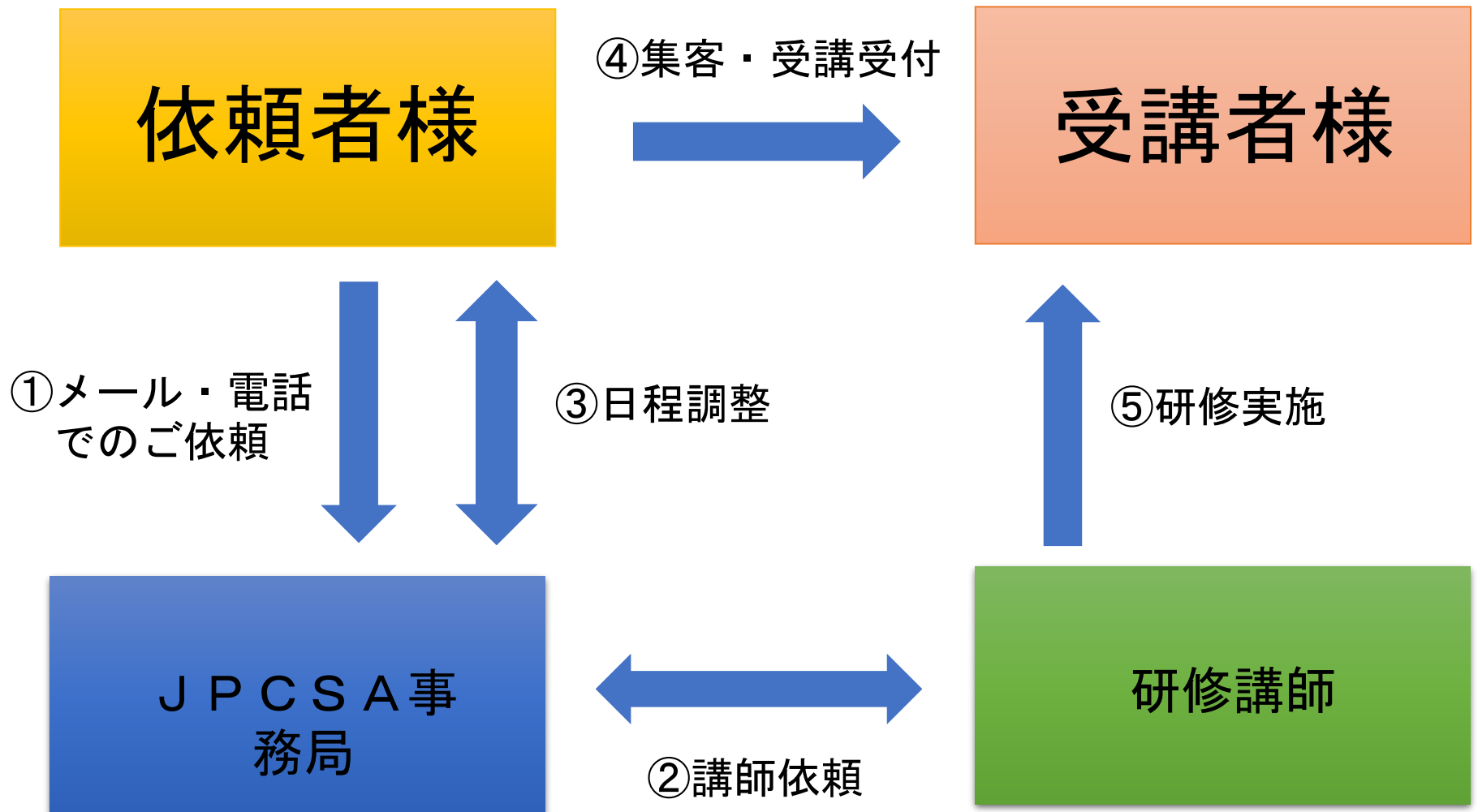
○一般社団法人日本ファームステイ協会事務局（（株）農協観光 地域共創事業課内）

【担当：出原・前場】

住所：〒143-0006 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル26階

電話：TEL:03-6436-8990 FAX:03-3298-1072 E-Mail: info@jpcsa.org

研修実施の流れ



「農泊の手引き」に即した研修コンテンツ リスト

NO.	【研修項目・キーワード】・研修名	「農泊の手引き」活動内容との連動	研修難易度	研修の成果	研修講師・担当	講義時間
新しい生活様式に即した農泊の実践						
1	【販売・予約・決済対応】OTAの導入	第3章4-1	基礎編	OTAの登録までの基礎理解	大野 彰則	2時間
2	【販売・予約・決済対応】OTAの活用	第3章4-1	応用編	OTAを有効なツールとして活用	大野 彰則	2時間
農泊全般＜農泊の基礎について学びたい＞						
3	【農泊の理解・現状認識】農泊の意味を知る・地域の現在を知る	第2章	基礎編	農泊実践の理解と地域の現状認識の把握	大野 彰則	2時間
体制づくり・経営・ニーズ把握＜組織体制をつくりたい強化したい・ビジネスプランを策定したい・ニーズ等を把握したい・顧客の絞り込みをしたい＞						
4	【事業計画策定】事業計画を作る	第3章1-1～2	基礎編	事業計画策定までの基礎理解	谷口 雅彦	2時間×3回
5	【資金調達】資金調達の準備と調達方法	第3章1-3	応用編	資金調達の準備と調達方法の習得	米持 貴史	2時間
6	【合意形成】多様な関係者の参画、協議会の設立、地域内の人々の合意	第3章1-4	応用編	多様な関係者、プレーヤーとの合意形成の意義を理解	大野 彰則	2時間
7	【法人化】法人を設立する	第3章1-5	応用編	法人化までの具体的方法の習得	仁村 大祐	2時間
8	【人材確保・育成】人材の見つけ方、専門家の受入等による人材育成	第3章1-6	応用編	人材確保と育成方法を習得	大野 彰則	2時間
9	【リスクマネジメント】安全管理研修（基礎編）	第3章1-7	基礎編	リスクマネジメントの必要性和洗い出しの方法	金子 衛	2時間
10	【リスクマネジメント】安全管理研修（応用編）	第3章1-7	応用編	安全管理マニュアルの必要性和保険に関する基礎知識	金子 衛	2時間
11	【ニーズ把握】ニーズ等の把握と顧客の絞り込み	第3章2-1～2	応用編	ニーズ・規模・成長性の把握と顧客の絞り込みの手法を理解	前場 大樹	2時間
地域コンテンツ＜農泊コンテンツを開発・ブラッシュアップしたい＞						
12	【地域コンテンツ全般】地域資源の発掘	第3章3-1～11	基礎編	地域資源の隠れた地域資源を見つけて出す方法とリスト化	安田 晃一	2時間
13	【地域コンテンツ全般】体験メニュー開発	第3章3-1～11	基礎編	独自性のある体験メニューの開発とタワ化	安田 晃一	2時間
14	【地域コンテンツ全般】ターゲット別滞在プログラム開発	第3章3-1～11	基礎編	ターゲットに向けた滞在プログラムの開発と行程表・積算表	安田 晃一	2時間
15	【地域コンテンツ全般】モニターツアーの企画と実施	第3章4-3	応用編	運営表や各種文書作成、アンケート方法を習得	安田 晃一	応相談
16	【宿泊】農家民宿・民泊の開業	第3章3-3	基礎編	開業までの手続きを理解	前場 大樹	2時間
17	【食事】地場産食材を活用した食事メニューの磨き上げ	第3章3-4	応用編	地場産食材を利用したメニュー開発の習得	前場 大樹	2時間
18	【6次産業化】地場産食材を活用した加工品の開発	第3章3-4	応用編	加工品の開発や販路拡大にむけた基礎理解	前場 大樹	2時間
19	【旅行業法・旅行契約】旅行業を巡る法制度について	第3章3-5	基礎編	旅行業登録に関する関連法令を理解	福井 伸之	2時間
20	【品質向上、品質認証】持続可能な品質の維持向上	第3章3-11	応用編	品質向上の重要性、品質評価支援制度の理解	青木 辰司	2時間
販売・プロモーション＜販売・情報発信・プロモーションを強化したい＞						
21	【販売・情報発信・プロモーション全般】販売・情報発信・プロモーション概論	第3章4-1～3	基礎編	デジタルマーケティングに関する基礎理解	大野 彰則	2時間
22	【情報発信】情報発信の具体的手法	第3章4-2	応用編	SNSや動画等の発信ツールの効果的な利活用を習得	大野 彰則	2時間
23	【プロモーション】ファムトリップ企画と実施	第3章4-3	応用編	販路拡大のためのネットワーク構築を目的としたファムトリップ	前場 大樹	応相談
インバウンド＜インバウンドの受入を強化したい＞						
24	【外国人受入・多言語対応】インバウンドの受入と環境整備	第3章5-1～4	基礎編	外国人旅行者の受入までの基礎理解	大野 彰則	2時間

※複数講師が対応可能

2024年4月現在：諸事情により変更の可能性がございます。

1. OTAの導入

「農泊の手引き」 第3章4-1

基礎編

インターネットが普及した昨今、特に宿泊施設の予約にあたり、電話、メール、自治体・中間支援組織の紹介といった窓口だけでは、FIT（個人旅行者）から予約され難いと言われています。

本研修では、OTA（Online Travel Agent）：インターネットを利用した旅行代理店または彼らが運用・提供している予約サイト）を利用する意義、予約サイトページ作成の基礎的実践までをカバーします。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	OTAの利用に関心ある農林漁家民宿オーナー等
内容	(1) 農泊の宿泊施設はなぜOTAを使うとよいのか (2) 主な世予約サイトの種類と特徴を知る (3) 予約ページの作成の実際
期待される成果	OTAを利用する意義、利用方法の理解を通してインターネットを使った集客体制の整備
注記	・ 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。 ・ 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。 ・ 「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。



・OTAを有効なツールとして活用

2. OTAの活用

「農泊の手引き」 第3章4-1

応用編

本研修では、基礎的なOTA活用の知見をベースに、更に効率的にインターネットを集客ツールとして活用する手法を事例を交えて学びます。

LINE
公式アカウント

"Green Note"の情報
発信と予約受付・コ
ミュニケーション

🔖 📷 ✕



airbnb

農家民宿"花ごよみ"に
集客



☆☆☆PittINN Farm
Hanagoyomi☆☆☆ (花
ごよみ) 1-2名 田舎裏部
屋

★ 4.75 (レビュー4件)
Hirakawa Shi., Azumori-Ken., 日本

農家の個室
ホストはAtsukoさん
¥5,317 / 泊
★ 4.9 (1)

Google Maps

地図情報もバッチリ！
LINEへの予約導線も
バッチリ！



所要時間

2 時間

価格

応相談

受講者像

OTAをもっと活用したい農林漁家民宿オーナー等

内容

- (1) パソコンなしでWebを活用できるサービスを使う
- (2) 消費者の宿泊需要を取り込む準備をする
- (3) 宿泊予約サイト以外のWeb活用
- (4) 実践者に学ぶWeb活用事例

期待され
る成果

複数のOTAやインターネットツールを活用してより効果的に集客する手法を学ぶ

注記

- ・ 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。
- ・ 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。
- ・ 「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。

3. 農泊の意味を知る・地域の現在を知る

「農泊の手引き」 第2章 基礎編

農林水産省では、農山漁村の所得向上を実現するための重要な柱として、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ、農山漁村型滞在旅行である「農泊」を推進しています。この農泊の取り組みをより多くの地域の皆様に広く普及し、農山漁村地域における農泊の取り組みの促進と機運の醸成、更には事業参画のきっかけとすること目的に開催します。

セミナー告知（イメージ）



所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 農泊とは？ (2) 農泊の推進が地域にもたらすもの (3) 地域の宝を活かした体験プログラム (4) 農家民宿・民泊を活かした交流 (5) 農泊地域の事例紹介
期待される成果	・ 農泊の取り組みへの理解が深まります ・ 地域にある様々な資源（人・食・農など）の価値を再発見することに繋がります
注記	農泊へ参画するきっかけづくりの場となりますので、多数の団体、住民への参加の働きかけをお願いいたします。

4. 事業計画を作る

「農泊の手引き」 第3章1-1～2

基礎編

農泊に地域ぐるみで取り組んでいくためには、地域の中心的な役割を担う中間支援組織のビジネス化が重要です。この研修では、今後の組織の事業計画を作成することで、農泊地域づくりについて実践的に学ぶことができる内容となっています。地域の農泊事業の「目標・ビジョン」と目標達成時に地域が備えていべき「機能や役割」を洗い出し、地域が目標に向けて取り組む活動スケジュール、事業予算や年度別目標値の設定等、事業計画を見える化する手法をワークショップで習得します。



所要時間	2時間 x 3回
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	全てワークショップ形式 (1) 地域リーダーのあり方 (2) 地域ビジョンの策定 (3) 取組戦略 (4) 取組戦術（目的分析・活動スケジュール） (5) 収支計画表
期待される成果	事業計画の策定を目指します。
注記	・ 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。 ・ 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。 ・ 密度の高い計画を立てる場合は、地域内のコアなメンバーで開催されることをお勧めします。

5 . 資金調達の準備と調達方法

「農泊の手引き」 第3章1-3

応用編

事業のスタートアップやステップアップの過程で、資金調達は不可欠なプロセスの一つです。

本プログラムでは、資金調達の手段について、基礎知識を習得するとともに、準備から調達方法についてアドバイスします。

基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 資金調達の準備 (2) 資金の調達方法
期待される成果	資金調達のサポート
注記	・ 基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

・多様な関係者、プレイヤーとの合意形成の意義を理解

6. 多様な関係者の参画、協議会の設立、地域内の人々の合意

「農泊の手引き」 第3章1-4

応用編

農泊実践に向けた取り組みには、自治体や観光協会をはじめ、地域の様々な組織や団体さらには自治会や地域の女性組織などの参画が不可欠です。

本プログラムでは、関係者が参画から協議会設立、地域内の合意形成までのプロセスについてアドバイスします。

基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 多様な参画者の参画 (2) 協議会設立と役割 (3) 地域内の合意形成
期待される成果	多様な関係者の参画、協議会の設立、地域内の人々の合意
注記	・基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

7. 法人を設立する

「農泊の手引き」

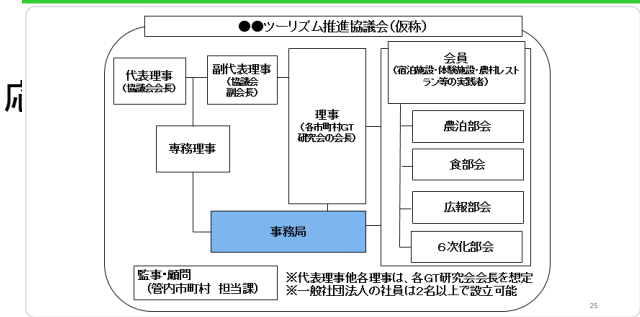
第3章1-5

応用編

農泊等の地域協議会にとって、法人化は持続可能で自立した運営・経営をしていく上で重要なプロセスの一つです。

この研修では、法人化を目的とするのではなく、協議会の目的・目標に向けて法人化が手段であることを押さえながら、必要なポイントな手続きを解説します。説明資料（イメージ）

法人化後の組織形態 体制イメージ（案）



所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 法人化の必要性 (2) 主な法人の形態 (3) 設立に必要な手続き（流れ） (4) 設立にかかる費用と期間 (5) 法人化後のイメージ （体制イメージ、経営モデル、事業内容）
期待される成果	・ 法人化に向けた具体的な行動の実践
注記	・ 基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

8. 人材の見つけ方、専門家の受入等による人材育成

「農泊の手引き」 第3章1-6

応用編

農泊では、様々な得意分野を持った多様な人材が活躍できる可能性があります。

地域内でそれらの人材を確保。育成することが利用ですが、内外のネットワークを通じて、地域の外から人材を確保することも考えられます。

本プログラムでは、地域内外にまたがる人材の見つけ方や育成手法についてアドバイスさせていただきます。

基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 人材の見つけ方 (2) 専門家の受入や外部研修 (3) 地域内勉強会などによる人材育成 (4) 先進地への視察
期待される成果	人材の発掘、専門家の受入等による人材育成
注記	・ 基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

9. 安全管理研修（基礎編）

「農泊の手引き」 第3章1-7

基礎編

農山漁村滞在型旅行において、お客様の安全確保は何よりも優先されるべき事項です。この研修では、最も安全管理が難しい子ども達の受入を題材として、過去に起きた事故の事例や裁判の事例等をご紹介しながら、安全管理の重要性について理解を深めます。また、安全管理の最初のステップとして、リスクの洗い出しからリスクへの対応について、ワークショップを通じて、これらの手法を習得します。



ワークショップ（イメージ）

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	受入地域のリーダーから受入農家まで、受入に係わる全ての人にとって有益です。
内容	(1) リスクマネジメントとは何か (2) 事故事例から学ぶリスクマネジメント (3) ワークショップ － リスクの洗い出し － リスク対策の検討
期待される成果	研修受講者は次の理解が深まります。 ・ リスクマネジメントの必要性 ・ リスクマネジメントの一般的な方法 ・ リスクの洗い出しの方法 ・ リスク対策の検討方法

10. 安全管理研修（応用編）

「農泊の手引き」 第3章1-7

応用編

農山漁村滞在型旅行の受入数を増やしていくためには、旅行会社との連携は不可欠です。しかし、旅行会社は安全安心な受入体制がある地域を旅行者の皆様を紹介したいものです。では、受入地域はどんな体制を整備すれば、旅行会社に紹介してもらえるのでしょうか。この研修では、受入地域として備えておくべき安全管理体制として、安全管理マニュアルと保険に焦点を絞って理解を深めます。なお、この研修は受入地域の体制作りについて説明します。受入団体の代表者や事務局等、受入の中心となる方々に受講していただきたい内容です。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	受入地域の代表者や事務局等、受入の中心となる方々が対象
内容	(1) 安全管理マニュアルの必要性 (2) 安全管理マニュアル作成のポイント (3) 保険の掛け方
期待される成果	研修受講者は次の理解が深まります。 ・ 安全管理マニュアルの必要性 ・ 安全管理マニュアルに最低限含まれるべき情報 ・ グリーンツーリズム関連の保険に関する基礎知識
注記	基本編受講後に上級編に進まれることが望ましいです。

・ニーズ・規模・成長性の把握と顧客の絞り込みの手法を理解

1 1 . ニーズ等の把握と顧客の絞り込み

「農泊の手引き」 第3章2-1～2 応用編

地域に人を呼び込むためには、一定のターゲットを設定することが不可欠ですが、そのニーズや市場性等を踏まえ、予め可能性を把握することが重要なポイントになります。

この研修では、既存ターゲットの拡大や新規ターゲットの掘り起こし・創造など、多様な可能性を加味しながら、地域に親和性のあるターゲットの設定について座学とワークショップを通じて、学びます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者、受入地域の方々 等
内容	(1) 地該当域における市場性の確認 (2) 既存ターゲットの整理 (3) 新規ターゲットの可能性 (4) ワークショップ
期待される成果	「ターゲットリスト」が出来上がります。
注記	

ターゲットリスト（イメージ）

ターゲット	食コンテンツ	住居コンテンツ	観光コンテンツ	宿泊先	PQ先	PQ方法
女性（30～50歳代）	①ゆめのにごり料理（定食） ②お米の産地体験（お米の産地体験） ③お米の産地体験（お米の産地体験）	農家体験、食の体験 アグリカルチャー体験 等	奥只見川（沼と遊覧、紅葉、枝折等）（滝等） 等	奥只見川（沼と遊覧、紅葉、枝折等）（滝等） 等	JA女性部 観光協会（主に観光・中継等）による営業 農業型企画旅行 等	旅行会社（主に観光・中継等）による営業 農業型企画旅行 等
法人（企業）（関係者・ベンチ）	①ゆめのにごり料理（定食） ②お米の産地体験（お米の産地体験） ③お米の産地体験（お米の産地体験）	農家体験、食の体験 アグリカルチャー体験 等	奥只見川（沼と遊覧、紅葉、枝折等）（滝等） 等	奥只見川（沼と遊覧、紅葉、枝折等）（滝等） 等	農業関係団体 法人企業による職員・社員向け研修 法人企業による利用 等	①旅行会社（主に観光・中継等）による営業 ②法人企業による職員・社員向け研修 ③法人企業による利用 等

1 2 . 地域資源の発掘

「農泊の手引き」

第3章3-1～1

基礎編

受入地域に多くの旅行者を呼び込むために、受入地域は地域資源を発掘し、これを魅力ある観光コンテンツとして磨き上げることが求められています。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて地域に隠された観光資源を洗い出し、その地域資源を整理する方法を学びます。

地域資源リスト（イメージ）

地域資源名	地域資源名	地域資源名	地域資源名	地域資源名	地域資源名	地域資源名	地域資源名	地域資源名
人吉市	つた農産	1	5/1/2018	096-23-4037	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用
人吉市	津和野町	1	5/1/2018	096-24-4344	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用
人吉市	古閑	1	4/1/2018	096-22-4335	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用
伊予市	平野町	2	5/1/2018	096-39-0359	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用
多良木町	農産物	1	5/1/2018	096-42-5223	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用
多良木町	農産物	2	5/1/2018	096-52-2550	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用
多良木町	農産物	2	4/1/2018	096-55-4040	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用	観光資源の整理と活用

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者、受入地域の方々 等
内容	(1) 地域資源とその整理の方法 (2) 事例紹介 (3) 季節別・対象別等、観光資源の抽出と仕分け (4) グループワーク
期待される成果	研修終了後には、「地域資源リスト」が出来上がります。
注記	・ ワークショップの時間内には成果品は出来上がりません。研修参加者が課題を確実にこなすことが必要です。 ・ 地域資源の発掘は、1回の研修だけで完成するわけではありません。継続的に、研修を活かして地域内で同様の研修を自主的に実施することによって、地域の観光資源を豊かにすることが望まれます。

- ・独自性のある体験メニューに開発とタリフ化

13. 体験メニュー開発

「農泊の手引き」 第3章3-1～1

基礎編

受入地域に旅行者を呼び込むためには、個々の地域資源を磨き上げることが大切です。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて、地域資源リストを元に各体験メニューのタリフを作り上げるプロセスを学びます。

体験メニュータリフ（イメージ）

プログラム情報シート		
プログラム名	動物入りきらり体験	
プログラムの説明	羊の園よりよく見えた！はまりますか？1年の成長を見たり、はちあつて！羊の園で動物見ることが出来るので、動物との触れ合いを通して心から羊や羊の飼育員さんへ感謝の気持ちを伝えることが出来る。	
体験可能期間	通年	
実施場所	動物広場	
参加料	50円	
開催時間	個人	団体
	9:00～10:00の前 17:00～18:00	9:00～10:00の前 17:00～18:00
料金	個人	団体
		1000円(入替可)
最少催行人員	個人	団体
最少催行人員		20名
	個人	団体
		1000円(入替可)
予約可能期間	○ ① 当日 ○ ② 当日まで ○ ③ 当日まで ○ ④ 当日まで ○ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
注意事項(持ち物・服装等)	① プログラム参加料(個人別) 200円 ② プログラム参加料(団体別) 2000円 ③ プログラム参加料(個人別) 200円 ④ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑤ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑥ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑦ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑧ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑨ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑩ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑪ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑫ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑬ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑭ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑮ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑯ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑰ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑱ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑲ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑳ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉑ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉒ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉓ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉔ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉕ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉖ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉗ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉘ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉙ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉚ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉛ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉜ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉝ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉞ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉟ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊱ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊲ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊳ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊴ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊵ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊶ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊷ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊸ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊹ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊺ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊻ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊼ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊽ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊾ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊿ プログラム参加料(団体別) 2000円	
主催団体	動物広場運営委員会	
実行可能団体	日本赤十字	
プログラムの流れ	① プログラム参加料(個人別) 200円 ② プログラム参加料(団体別) 2000円 ③ プログラム参加料(個人別) 200円 ④ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑤ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑥ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑦ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑧ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑨ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑩ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑪ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑫ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑬ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑭ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑮ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑯ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑰ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑱ プログラム参加料(団体別) 2000円 ⑲ プログラム参加料(個人別) 200円 ⑳ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉑ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉒ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉓ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉔ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉕ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉖ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉗ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉘ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉙ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉚ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉛ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉜ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉝ プログラム参加料(個人別) 200円 ㉞ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㉟ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊱ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊲ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊳ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊴ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊵ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊶ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊷ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊸ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊹ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊺ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊻ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊼ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊽ プログラム参加料(団体別) 2000円 ㊾ プログラム参加料(個人別) 200円 ㊿ プログラム参加料(団体別) 2000円	
不具合(イメージ)	  	

所要時間	2 時間
価格	応相談
内容	(1) 地域資源リストからタリフ化するメニューの抽出 (2) タリフ作成のポイント（ネーミング・コンセプト・値付けなど） (3) タリフ作成ワークショップ (4) ワークショップ講評 (5) 実地踏査の必要性
期待される成果	研修終了後には、「体験メニュータリフ」が出来上がります。
注記	・ 地域資源発掘編から継続受講が望ましいです。 ・ ワークショップ終了後、実地踏査することによって、研修成果品を最終化することが望めます。 ・ 研修では、サンプルとして最大4本のツアーを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象者別、季節別の体験プログラムを作り続けることが望めます。

1 4 . ターゲット別滞在プログラム開発

「農泊の手引き」

第3章3-1～1

基礎編

受入地域に旅行者を呼び込むためには、地域の観光資源を活用して、魅力ある滞在プログラムへと磨き上げることが必要です。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて、ターゲットとする旅行者に応じた滞在プログラムを作り上げるプロセスを学びます。

滞在プログラム（イメージ）

【個人向け】かんがみ農泊 体験型モデルコース（1日）			
○認定期間：通年 ○認定人員：2名～10名様 ○開催：3泊、夫婦・カップル、全世代歓迎可 ○研修施設： 月丘天文台、天文台成館・天文ガリウム 大人@1000円/小人@500円/小学生@300円 農産王園オランダ館 全席@1,200円/半席@600円/1歳以下@300円 研修体験@500円/（※アイズリム作りを分1,000円） 遊・トピアかんがみ 入館料@300円/大人@700円/子供@300円 ○その他：			
時刻	場所	内容	備考
10:00 ～ 11:00	月丘天文台	①開館説明：プラネタリウム ②観望からの天文台展望	
移動手段 徒歩			
11:30 ～ 12:00	農産王園 オランダ館	①農産・バーベキュー（20名） ②体験：アイスクリーム作り（20名） ③食料：農産王園オランダ館（100名）	
移動手段 徒歩			
14:20 ～ 15:20	道の駅・道の駅 伊豆グレートウェイク園	①資料：伊豆グレートウェイク園 ②食料：伊豆グレートウェイク園	
移動手段 徒歩			
15:40 ～ 17:00	遊・トピア かんがみ	①資料：遊・トピアかんがみ ②食料：遊・トピアかんがみ	

所要時間	2 時間
価格	応相談
内容	(1) 対象とする旅行者層とテーマの特定 (2) 地域資源の選択と体験メニューの造成 (3) 体験メニューの組み合わせによるツアー行程表の作成 (4) ツアー現地費用の概算 (5) ワークショップ講評 (6) 実地踏査の必要性
期待される成果	研修終了後には、「行程表(案)」と「現地概算費用（案）」が出来上がります。
注記	・ 地域資源発掘編から継続受講が望ましいです。 ・ ワークショップ終了後、実地踏査することによって、研修成果品を最終化することが望まれます。 ・ 研修では、サンプルとして最大4本のツアーを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象者別、季節別の体験プログラムを作り続けることが望まれます。

15. モニターツアーの企画と実施

「農泊の手引き」 第3章4-3

応用編

各種ワークショップにより机上で造成された観光コンテンツを、モニターツアーを実施することで受入体制や役割分担、収益性等の有効性が検証できることに加えて、旅行者のニーズを把握することができます。

また、モニターツアーの様子を画像や動画で記録することで、今後のプロモーションツールとして利活用することもできます。加えて地域のモチベーションを上げる効果も期待できます。

モニターツアー（イメージ）



所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) プログラムへの事前アドバイス (2) 受入体制・役割分担の事前確認 (3) 集客支援 (4) 当日の運営支援 (5) モニターツアーの評価・分析と提案
期待される成果	・ 受入にあたっての運営表の作成 ・ お客様への案内文書の作成 ・ アンケートの作成と集計、分析と提案
注記	ターゲット、提供プログラム、集客方法、運営方法等により、内容・ご予算等のご相談に応じます。

16. 農家民宿・民泊の開業

「農泊の手引き」 第3章3-3

基礎編

農山漁村滞在型旅行では、地域にある多様な宿泊施設と回遊型の体験コンテンツの充実が必要不可欠となります。地域に何度も訪れていただきリピーターの獲得に向け、交流を介した様々なプログラムでおもてなすことが重要です。

この研修では、農家民宿・民泊での宿泊における交流に関する事例を紹介すると共に、開業に至るまでの一連のプロセスを学んでいきます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会・地域の方々 等
内容	(1) 農家民宿・民泊をとりまく情勢 (2) 旅館業法と民泊新法の違い (3) 開業に向けたポイント (4) 宿泊者との交流
期待される成果	農家民宿・民泊の開業までの手続きを理解することができます。事例を通じて、お客様との交流のイロハを知ることができます。
注記	・ 開業の手続きなど、具体的な対応方法についての講義は行いません。 ・ 県・市町村の条例等により、開業手続きが異なる場合がございます。

農林漁家民宿 開業支援セミナー

～地域に根ざした滞在型旅行の推進～

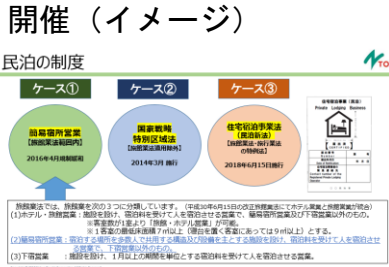
日時：令和元年8月20日(水)13時～15時40分
場所：サンシティ七尾(川)2F 小会議室 (JR七尾線七尾駅より徒歩1分)
対象者：農林漁業従事者・関係者、観光関係者、地域住民等 (定員20名、参加費無料)

・農山漁村滞在型旅行(以下、滞在型)は、農山漁村で営む人々との交流を深め、滞在型旅行として、農山漁村の魅力を伝える「滞在型旅行」を推進することによって、地域活性化・観光振興に寄与することが期待されます。
・本セミナーでは、滞在型旅行の推進に必要となる知識・スキル、農山漁村滞在型旅行の推進に必要となるノウハウ、農山漁村滞在型旅行の推進に必要となる事例などを紹介いたします。

講師：農山漁村滞在型旅行推進協議会 代表理事 佐藤 孝一氏

申込方法：申込書(別紙)に記入の上、FAX、メール、または直接セミナー会場までお申し込みください。

申込先：〒937-0022 七尾市 中央1-1-1 農山漁村滞在型旅行推進協議会 事務局
TEL: 0977-8322-3443 FAX: 0977-8322-3445
E-mail: info@noryuho.jp



・地場産食材を利用した食事メニューの開発

17. 地場産食材を活用した食事メニューの磨き上げ

「農泊の手引き」 第3章3-4

応用編

各産業間の連携による農村の活性化や農業経営の多角化のキーワードとして」6次産業ということばが注目されています。農業本来の第1次産業だけでなく他の第2次・第3次産業を取り込み付加価値をつくることをご支援します。

食事メニューの新規開発・改善・レベルアップ等についての課題に対して、専門アドバイザーを派遣し、メニュー開発の支援を行います。

ビーガンを含むベジタリアンやハラルルに関してのご相談についても応じます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1)食事メニュー開発 (2)マーケティングに関するアドバイス (3)プロモーションに関するアドバイス
期待される成果	食事メニューの開発（レシピ作成）や販路拡大に繋がります。

開催（イメージ）



18. 地場産食材を活用した加工品の開発

「農泊の手引き」 第3章3-4

応用編

各産業間の連携による農村の活性化や農業経営の多角化のキーワードとして」6次産業ということばが注目されています。農業本来の第1次産業だけでなく他の第2次・第3次産業を取り込み付加価値をつくることをご支援します。

加工品の新規開発・改善・レベルアップ等についての課題に対して、専門アドバイザーを派遣し、メニュー開発の支援を行います。

また通販事業を中心としたアドバイスも可能です。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1)商品開発 (2)マーケティングに関するアドバイス (3)プロモーションに関するアドバイス
期待される成果	食に関するコンテンツの開発や販路拡大に繋がります。

開催（イメージ）



19. 旅行業を巡る法制度について

「農泊の手引き」 第3章3-5

基礎編

旅行業関連の法制度について概要を知っていただきます。適法に事業を行うことを強く求められてきている近年で、しっかりとした旅行業法の知識を身に付けていただきます。

さらに旅行業法関連の登録、資格について概要を知っていただきます。

旅行業登録に関する関連法令を短時間で参加いただいた方々にお伝えしていきます。

所要時間	2 時間（ご相談に応じます）
価格	応相談
受講者像	宿泊・観光サービス事業者、地域協議会 等
内容	(1) 旅行業の成り立ち&ヒストリー (2) 旅行業関連の法制度 (3) 旅行業法関連の登録／資格 (4) 振り返り・まとめ
期待される成果	旅行業登録に関する法令の理解ができます。
注記	オンラインで実施することも可能です。

20. 持続可能な品質の維持向上

「農泊の手引き」 第3章3-11

応用編

「農泊」をビジネスとして実践し持続可能な農山漁村地域につなげるには、継続的な品質の維持向上に取り組む必要があります。

品質の向上により利用者には安心・安全な情報・サービスを提供し集客の向上につなげ、地域は適正な料金を収受し、持続可能な経営をめざします。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	宿泊・観光サービス事業者、地域協議会・DMO関係者、旅行会社、旅客事業者、保険会社社員、大学等研修者 等
内容	(1) 農泊の持続的発展に向けた品質確保の必要性 (2) 農泊に求められる品質の内容と課題 (3) 農泊品質評価の要点と課題 (4) 品質評価を踏まえた支援の方法と課題 (5) 品質評価支援制度の概要
期待される成果	農泊地域における各種施設の品質向上の意義を学ぶことができます。
注記	品質評価支援制度の依頼受付も承ります。

2 1 . 販売・情報発信・プロモーション概論

「農泊の手引き」 第3章4-1~3

基礎編

農泊を実践している地域では、受け入れ体制整備を実施しながら、同時に体制が整ったら集客するための情報発信を実施する必要があります。

人員不足の問題などから後手に回ることが多いとされますが、地域を知ってもらい集客につなげるために重要な情報発信についてまずは基礎的な理解を深めます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	情報発信を実施する協議会等組織の担当者
内容	(1) 農泊地域の情報発信で検討すべきこと (2) 様々な情報発信ツールと特徴 (3) 集客ターゲットを意識した情報発信 (4) 「販売」を意識した情報発信
期待される成果	農泊地域の情報発信の手法について概要を学ぶ
注記	・ 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。 ・ 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。 ・ 「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。

2 2 . 情報発信の具体的手法

「農泊の手引き」 第3章4-2

応用編

本研修では、情報発信を行うべきターゲットの考え方、昨今有効なツールとして注目される動画による情報発信、発信した情報の効果を検証するデジタルマーケティングの基礎

おすすめの地域

秋田県仙北市

米どころで農業体験「仙北」農家民宿が多く、きりたんぼ作り、野菜・米の田植えや収穫を体験。田沢湖や秋田温泉も近く、観光も楽々できます。

地域の宿を見る

宮城県蔵王町

四季折々の自然を体験できる「蔵王」日本有数の別荘地で蔵王の自然を満喫。蔵城蔵王キリッ村でキリッとの触れ合いや、天然温泉を楽しむ。蔵王パワースポットが満載です。

地域の宿を見る

宮島県

古事記・日本書紀に登場する秘境「高千穂」や、恋愛新説で有名な真砂神社がある「真島」など、絶景パワースポットが満載です。

地域の宿を見る

青森県黒石市

文化と温泉を楽しむ「黒石」伝統的な建築物が多く残るこみせ通りで温泉街から文化を体感し、個性豊かな温泉宿で体を癒やすことができます。

地域の宿を見る

岩手県一関市

日本百景と文化を体験できる「一関」日本百景の一つ、岩手県で伝統的な自然を体験。蔵王・蔵王一帯の花作り等様々な文化を体験できます。

地域の宿を見る

青森県弘前市

おひんぐり温泉を眺めながら田舎暮らしを体験してみませんか？弘前公園・弘前市で温泉のひとときを！

地域の宿を見る

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	情報発信を実施する協議会等組織の担当者
内容	(1) 発信する情報を誰に届けるか (2) 農泊地域を伝える動画の活用 (3) 発信した情報の効果を追いかける デジタルマーケティング：Google Analyticsの基礎的な理解と活用
期待される成果	農泊地域の情報発信の応用として、情報を届けるためのセグメンテーション・ターゲティングの考え方、動画活用、デジタルマーケティングを学ぶ
注記	- 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。 - 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。 「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。

23. ファムトリップ企画と実施

「農泊の手引き」 第3章4-3

応用編

完成度を高めた滞在コンテンツを訴求していくためには、ターゲットとなる対象の人たちのニーズを把握する必要があります。

また、販路を拡大するために、ネットワークを構築することも重要です。

ファムトリップを通じたプロモーションをご支援します。

ターゲットイメージ：マスコミ、旅行会社（インバウンドや教育旅行の担当者など）、法人企業、インフルエンサー等

※誘客についてはご相談対応のみの場合あり



所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
内容	(1) プログラムへの事前アドバイス (2) 受入体制・役割分担の事前確認 (3) 集客支援 (4) 当日の運営支援 (5) ファムトリップの評価・分析と提案
期待される成果	・ 受入にあたっての運営表の作成 ・ お客様への案内文書の作成 ・ アンケートの作成と集計、分析と提案
注記	ターゲット、提供プログラム、集客方法、運営方法等により、内容・ご予算等のご相談に応じます。

ファムトリップ（イメージ）

24. インバウンドの受入と環境整備

「農泊の手引き」 第3章4-3

応用編

外国人旅行者は、自然の美を堪能し、伝統文化を体験し、地方コミュニティについて学び、おいしい食べ物に舌鼓を打ち、そしてほかの場所では体験できない稀有で実践的な体験に多くの期待を寄せています。

ここでは、「日本のおもてなしの心」を表現するためのスキル習得と、サービス向上に向けての意識改革と設備改善の必要性を学んでいただきます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	地域協議会・DMO関係者 等
内容	(1) インバウンドの情勢と傾向 (2) 国・地域別のニーズ (3) 環境整備 (4) 日本在住の外国人との連携 事例紹介を交えた講義内容に
期待される成果	インバウンドの受入に関する心構えや環境整備の必要性等を学ぶことができます。
注記	